

～地域の方と連携を図るために～

先生方へ



教員という仕事をしていると、「世の中の人みんな学校に通った経験があるので、学校がどんなところか知っている」と思いがちです。

しかし、多くの方は、児童生徒として学校に通っていた視点や、保護者としての視点でしか「学校」を知りません。そのため、先生方が何を大切に授業をしているのか、どんな仕事をしているのか、何に困っているのかがわからないことがあります。

対等な立場でより良いパートナーシップを築くためにも、子供たちの実態や学校の様子、先生方の思いを丁寧に伝えてあげてください。名取市内の学校にお勤めの全ての先生方へのお願いをまとめましたので、ご確認ください。



全ての先生方へ お願い



● パートナースhipを築きましょう。

学校に協力したいと思ってくださる皆さんは「部外者」と思われるのが嫌です。少しずつでいいので、共に子供を育てる責任をもった「関係者」として接してください。

● 地域コーディネーターの名前と顔を覚えましょう。

担当の先生だけでなく、全教職員が自分の学校を担当しているコーディネーターの名前と顔を覚えるようにしましょう。来校したら、「コーディネーターさん」ではなく、「〇〇さん」と名前と呼んであげてください。

● 笑顔で明るい挨拶をしましょう。



地域の方にとって、職員室は気軽に出入りできるものではありません。そして、先生方の視線がとても冷たく感じる場合があります。そんな時、笑顔と明るい挨拶で声をかけられると心がほぐれるものです。明るい挨拶をして、心と心をつなぎましょう。

● 依頼をするときには早めにしましょう。

以前なら仕事をリタイアしていた年齢でも、現在はまだまだ現役という方々がたくさんいます。地域人材に詳しいコーディネーターでも、短い期間でボランティアを探すことは至難の業です。

● 連絡を密にしましょう。

あらかじめ、準備物や役割分担などを十分打ち合わせをしましょう。子供たちが学校にいるときには、外部との連絡が難しいことを地域の方にお知らせし、連絡がつきやすい時間を伝えてください。

● 子供たちに説明しておきましょう。

地域の方がなんのために来校しているのか、事前に説明しておくことが大切です。学校生活が地域の方々に支えられていることを理解できるような事前指導を心掛けましょう。活動後のお礼の言葉もうれしいですが、心と心のつながりが、地域の方のやりがいにつながります。また、子供たちの目が地域に向くきっかけになります。

